



# 西 関 西 同 窓 会

編集・発行／済々黌関西地区同窓会  
事務局／大阪市淀川区西中島3-12-15 第5新大阪ビル502 ㈱ラフ関西支社内  
TEL 080-1414-8405 (岡本) FAX 06-6101-5572  
メールアドレス seiseiko.kansai@yahoo.co.jp  
http://www.seiseiko-kansai.com / 題字揮毫 高見 廣流 (高見 広宣・S57年卒)

進 磨 振 重 明 正  
文 知 元 座 大 倫  
明 後 幸 恥 義 理

## 「創立130周年を迎えて」

済々黌関西地区同窓会 会長 北野 伸也 (S32年卒)

済々黌は今年、創立130周年という節目を迎え、同窓会の活性化のスタートの年と位置づけ、考えてみたいと思います。

廻りますが「済々黌百年史」のまえがきに編集委員長の本田不二朗先生は「学校の良否は、その学校の卒業生が、母黌に対して限りない、誇りと愛着をもち、伝統を忠実に継承して、国家社会に積極的に貢献しているかどうかにかかっていると言わねばならない。その点済々黌は現在もなお健在であり、百年の歴史の年輪はまさに、済々黌発展の金字塔であるといっても過言ではあるまい」と述べられています。

「百年史」から30年経過した今日、歴史の年輪はどんなものになるのか考えさせられます。

私は昭和38年、北海道から大阪勤務に。当時、同窓会があることも知らず、後日、事務局長を訪ねたところ、幹事の役を依頼され、同窓会に関わるきっかけになりました。非常に厳しい幹事長、事務局長でしたが、ご指導を頂き今日の私があります。

振り返れば、創立100周年の翌年、事務局長から、若者を対象とした組織の活性化を図る為に、総会準備チームの結成の依頼を受け、40代の私以下20代から30代の10名でチームを組織し活

動を開始しました。当時を思い起こせば、活発なチームの活動により、徐々に若者の会員、総会出席者が増加し、若さと活気に満ちていたと記憶しています。この年から総会に学生参加がスタートしました。又50歳以上の先輩も厳しかったですが、和気藹々としていました。

近年の状況を見ますと、少子高齢化、個人情報保護法の施行もあり、済々黌の歴史を背負って立つべき50歳未満の若者の会員数、出席者が非常に少なくなっています。

冒頭にありますように、母黌に対して限りない、誇りと愛着を持ち、伝統を忠実に継承する為には、同窓生相互の幅広い絆が必要だと考えます。

130周年を契機として、関西地区同窓会としては、記念誌の発刊を始め、総会&記念講演会や名簿の発刊等の諸策を企画しています。会員の皆さんの積極的な参画により太い年輪が刻まれることを念願しております。



## 済々黌創立130周年記念

### 姜尚中講演会 開催決定!!

平成24年度総会は、130周年記念事業として、同窓生で政治学者として活躍中の姜尚中・東京大学大学院教授を招き下記の内容で開催します。

記

○開催日時 平成24年10月20日(土)11時～

○会場 ホテルニューオータニ大阪(奥様など同伴参加も可)

\*詳細は済々黌関西地区同窓会ホームページで紹介します。

## 「濟々鬘創立130周年への取り組みについて」

幹事長 本田 重 寿 (S40年卒)

本鬘創立130周年の記念すべき年を迎えて、関西地区同窓会では今後一層の活性化を企図して、次の事業に取り組みます。会員の皆さんの積極的な参画をお願いします。

### 1. 記念誌（冊子）の発刊（H24/秋）

130周年に因んで、関西地区同窓会の歴史をまとめておきたいと思います。併せて、会員の皆さんから色々な投稿をお願いして、記念となる冊子を編集・発刊の予定です。

### 2. 総会&記念講演会の開催（H24/秋）

記念の総会をより多くの会員参加で開催すべく、超多忙の姜 尚中教授（S44）に講演をお願いすることにしました。日程は、10月20日（土）女性にもファンの多い教授ですので、会員の家族の参加も大歓迎です。

【詳細な内容と案内は後日連絡いたします。フロント面参照】

### 3. 関西地区同窓会名簿の追補版の作成（H25/2頃）

本鬘同窓会で、全体の名簿を作成予定ですが、これを受けて関西地区の名簿（H21年版）を追補する形で作成します。これで従来把握が漏れていた会員の大幅増加が見込まれます。

尚、上記特別事業を推進する為、栗山雅敏委員長（S40）・諸熊建次副委員長（S44）・浜野伸二副委員長（S51）を中心とする130周年（実行）委員会を組成して対応します。

また、上記の事業については、通常同窓会費からの捻出が困難な財政状況にありますので、会員の皆さんに特別に寄付をお願いする次第です。何かと出費多端の折恐縮ですが、どうぞ、よろしくお願いいたします。

## <平成23年度総会の報告>

- 日 時 平成23年5月14日（土）12時半～
- 会 場 太閤園3F「ダイヤモンドホール」
- アトラクション 「チーム対抗カラオケ歌合戦」
- 参加者 156名  
（会員：111名 学生：33名 来賓：12名）
- \* 総合司会 勝浦美奈子（S57卒）
- \* 懇親会進行 高千穂利道（S61卒）本郷勢子（H18卒）
- \* 内 容

光島磯雄副会長（S26卒）による三綱領唱和でスタート。北野伸也会長（S32卒）挨拶の後、本鬘の徳永憲治教頭（S55卒）と岩永研一同窓会会長（S26卒）が地元の現況を報告。懇親会は最高齢の入江春行・元大谷女子大教授（S20卒）による楽しいスピーチと乾杯でスタート。テーブルごとの近況報告が落ち着いた頃、チーム対抗の歌合戦となり大いに盛りあがった。最後は東京から駆けつけた応援団OBの牧野徹夫歯学博士（S40卒）が学生をバックにエールをおくり鬘歌の大合唱となった。締めは櫻井毅副会長の挨拶と一本メでお開きとなった。今回も学生など若手会員が30人以上参加し今後の活性化に繋がる総会となった。

平成24年度総会では、創立130周年記念として、同窓生の姜尚中教授の講演会を10月20日（土）に開催する!!

（総会実行委員会報告）



## ＜ボランティア活動報告＞

### 「東日本大震災ボランティア参加記」

駒崎伸之 (S41年卒)

昨年6月26日の父の従兄弟の一周忌が東京であったため上京し、その足で東松島市のボランティアセンターへ行き、個人宅のヘドロ除去作業を行なった。震災から3ヶ月強が経過していたため、主要道路のガレキは自衛隊により除去されていたが、個人の家は庭や床下にヘドロが残っていた。各家庭よりのセンターへの依頼に基づき小生らが除去を行なった。(JR東名駅近くではレールや枕木が津波で跡形も無くなっており、破壊力の凄さに驚いた。)線路跡には3ヶ月強経過している事も有り、すでに雑草が生えていた。独特の異臭の中での作業だったが、暑かったためマスクも着用せず頑張った。



作業終了後東松島市役所に行ったら、チーム熊本などのグループが申請書作成などの応援を行っていた。8月には後輩の積道英君が音楽慰問キャラバンで被災地を訪問した。印象に残ったのは、作業をした隣の家のお婆ちゃん(85歳位)が自宅の縁側で放心状態で黙って座っていた事。小生自身、昭和28年の白川大水害を思い出していた。



### 元気だ状プロジェクトのご案内

鍛冶屋圭佑 (H20年卒)

今自分は復興支援プロジェクト「元気だ状プロジェクト」を手がけています。元気だ状とは、感謝の気持ちや、元気であることの近況報告を、お世話になった人や家族・友人に発信しやすいようにデザインされたハガキです。少しでも多くの被災された方に、気軽に使っていただけるよう、元気だ状プロジェクトでは印刷代、送料、手数料、郵便はがき代の一部を負担しています。自分は現在、関西の学生代表として元気のある企業、個人の方に、応援金をお願いしています。その皆さんがくださった応援金で被災地に「元気だ状」を届けます。そこで、元気を振るう済々夔の先輩達に協力していただけないかと思っています。自分も被災地に行って改めて思ったのですが、被災地の方は今日1日を必死に生きています。自分にも何かできることを、そう思い自分はこのプロジェクトを動かしています。被災地の方たちの声が日本中に広がれば、日本はもっと元気に力強くなるはずですよ。

また、サイト <http://www.genkidajo.com/project/> の方も、もしよろしければご覧下さい。

### 「ボランティア活動に参加して」

富永菜月 (H19年卒)

7月に仙台の七ヶ浜でがれき撤去作業を行なった。男性は力を合わせて大きな船などを運んでいたが、私は自分一人でも運べるがれきを一つずつ撤去した。「プーさんの縫いぐるみ」や「子供の三輪車」を見つけたときは胸が苦しくなったが、私にはそれらを運ぶことしか出来なかった。120人で3日をかけて活動すると浜は見違えるほど綺麗になったが、帰りのバスの中から石巻の全く手付かずのままの現状を目にして復興はまだまだ遠いことを悟った。



京都に帰ってから、「鴨川納涼」をボランティアで手伝って欲しいとの要望が有り、京都熊本県人会に入会した。準備委員会の初会議にドキドキしながら向かうと、皆が皆びっくりするほど優しく迎え入れてくれた。懐かしい熊本弁に囲まれてすぐに居心地の良さを感じることが出来た。河川美化啓発活動の一環で、開催当日は済々夔のOBなど若手が大勢参加した。議論を重ねて計画を練ってくださった方々のおかげで楽しい時間を過ごすことが出来た。私も次に参加する人にもそう思ってもらえるような県人会づくりに少しでも貢献できたらと思う。

### 「済々夔夔歌楽譜紹介」

光島磯雄 (S26年卒)

以前から皆さんが歌う夔歌を聴いていると微妙に違うところがあるので楽譜を紹介する。特に注意して改めて欲しいのは2番の歌詞で「むひのーくわうえいめいせよや」のフレーズ。殆どの人が「むーひの」と歌っている。楽譜を見ていただければその間違いが歴然としている。「むひのー」と注意しながら次回から歌おう!!  
\* 因みに今年、夔歌が作られてから100周年になる。

夔歌

♩ = 100

一ヘキラクアマガバ井ナルカナウツマクケムリ  
二そのかみおもへんぼとほきかなどうしんのしれも  
三シウシ一ツカカハラザルワシハハシレヨ  
四あとうひしうのりやうせしちあかんこう

イクヒヤクチャウ七一カイイチテフダイカザン  
あつまりてみーちをかりていちするいちほうしや  
サンカワリヤウ七一カイイチテフダイカザン  
おきめしとむげんのめくみにたみよくし

ワレラノイキヨシメサズヤギンナンシヤウトワ  
きんせとほすーせきせいんごーころつくしや  
サントウコレガ一モトソルワリサケミーレバ  
りうよふいん一なほそんすれきさいきらの

リウザンノミドリヲシームルセイセイカ  
ほととぎすこーえはくもみにきこえてや  
へうれつはア一サシズキイシヤハチ  
ちうれつはア一サシズキイシヤハチ

コンコンツキヌシラカハニクワウサウキザイノケウツス  
かんめいつわかくわのむひのーくわうえいめいせよや  
ウツウノキカンセイシンケイシュハヤガチワガリサウ  
てんちーばんしやうみなわかしすすまんりさうのもくへうに

## 「年次別活動報告 昭和29年卒業会」

松岡孝博（S29年卒）

我々29会メンバーは3年生の時、あの忌まわしい6・26大水害に遭遇した。昨年は災害の多い年であったが、我々も被災した経験から誠に痛ましく思っている。

29会は毎月第2火曜日梅田OSホテル内サイゼリアで昼食会を開いている。

名簿上14名だが常時8～10名の参加者がありビールにワイン、イタリア料理を食し、話題は政治経済、科学技術、文学、芸術にまで広がり、特に郷土の話題になると更に盛り上がるのである。しかし不思議に現役時代の自慢話はなく、孫の自慢話はタブー。会費2千円程度で3～4時間「アッ！」と言う間に経過する。

東京、名古屋、熊本からの来客もあるが特に関西地区同窓会

の結束を固める接着剂的な役割を担いたいと願い、卒業年度の異なる同窓生の参加を積極的に働き掛けており、参加者も20名に及びこともある。

濟々餐はひとつ。三綱領の精神に基づき老骨ながら母餐の益々の発展と同窓生諸氏の御多幸と御健康を祈念しているところである。

関連イベント「チャーリー永谷さん（S29年卒）ライブ開催」

昨年12月10日、京都宝ヶ池HONKY TONKで昼夜2回開催され、北野会長はじめ関西地区同窓会関係者23名が参加した。京都在住の富永菜月さん（H19年卒）が花束贈呈し、たっぷり2時間チャーリーワールドカントリーに魅了された。



### 【濟々餐人物群像】

#### 京都産業大創設者・宇宙物理学者 荒木俊馬さん

明治30年山鹿市生まれ。濟々餐ではピリからスタートし、卒業時には主席を占めた。京都大学理学部在籍中、アインシュタインの講演会があり、学生総代でドイツ語で歓迎の辞を述べた。京大で教べんを執り、湯川秀樹や朝永振一郎らに量子力学の集中講義をする。敗戦を機に辞職し、閑壠生活をしながら「大宇宙の旅」などを執筆し、漫画家松本零士氏にも影響を与えた。昭和40年に京都産業大学を創設。開校式には湯川氏も来賓で祝辞を述べた。荒木先生の描いた理想の教育は、濟々餐を見本にしたと語られている。



#### ◆◆◆第28回 多々餐会のご案内◆◆◆

開催日時：平成24年3月31日(土)9:10集合

9:44 OUT-INスタート

開催場所：宝塚高原ゴルフクラブ

宝塚市切畑宇長尾山14番地

TEL(0797)88-5353/FAX(0797)88-1317

プレー費：13,980円(食事付き)

茶店等については全て各自負担

参加費：2,000円(賞金など)

申込締切：3月16日(日)

奮ってご参加下さい。

### 【職場の中の多士濟々】<肥後銀行大阪支店>

肥後銀行大阪支店では法人営業を中心に事業を展開しています。取引先では熊本関連企業もたくさんあります。大阪支店では現在4名の濟々健児が在籍しています。行員は全部で10名なので多士会が4割と高い割合を占めます(笑)。仕事終わりに飲みに行く機会も多いので、毎回同窓会をしている気分です。支店は御堂筋沿いのビル6Fにあります。近くに来られた際は是非お立ち寄りください。

(中央区淡路3-6-3NMプラザ御堂筋6F)

写真 左から 安藤浩司S63年卒、中村光輝H4年卒、  
松本琢磨H3年卒、下田稔久H13年卒 4名

